

福島 活動報告

全学連福島現地行動隊
fzengakuren@yahoo.co.jp
<http://www.zengakuren.jp/>

2・19

南相馬市でのデモに参加しました

2月19日は、南相馬市で行われたデモ（『救援本部ニュース』239号裏面参照）に参加してきました。南相馬では、市議会議員の山本弘一さんなどの呼びかけで毎月(!)デモが行われており、私も以前に参加したことがあります。

11時、20人ほどの参加者が南相馬市役所近くの集合場所に集まってきました。主催者の軽いあいさつのもと、デモに出発。と同時に、デモコールのマイクが私に回ってきました。デモ隊の中で現地行動隊メンバーは最も若く、大変期待されていることがわかります。そうして、原ノ町駅まで往復する1時間ほどのデモを現地行動隊が先頭で牽引しました。



デモの後は交流会となり、参加者がそれぞれの思いや取り組みを話し合いました。飯館村の農民の方は、放射性廃棄物が薄いビニールシー



トの上に積み上げられているだけという飯館村の廃棄物仮置き場のデタラメさを弾劾。市内の女性は、咳をすると血が混じるようになったので医者に行ったところ、「それは花粉症だ」と言われたという現実を語っていました。主催の山本さんからは、市内各所で1kgあたり100万ベクレルを超える汚染土が見つまっているということが暴露されました。こうやって簡単に書いただけでも、南相馬・福島で起こっている自体の重大さ、政府などの無責任さ、犯罪性がわかると思います。

このように、福島各地で怒りや危機感を持った人々が立ち上がっています。彼らと固く団結して、3・11の成功、そして原発の再稼働阻止・廃炉へ進んでいきましょう！

(と)

文科省の「リアルタイム線量測定システム」が稼働 ～数値だけでは福島状況はわかりません！～

福島県内2700ヶ所に、写真のようなモニタリングポストが設置されています。福大の講義棟S棟前にも設置されていて、申入書を提出した2月13日に見たときは、 $0.955 \mu\text{Sv/h}$ を指していました（雪が積もったり溶けたりで数値は前後します）。申入書の回答をもらいに行った2月20日は、その周辺を除染しており、 $0.377 \mu\text{Sv/h}$ と数値は結構下がっていました。

ですが、注意したいのは、これは「モニタリングポスト周辺の空間線量」であるということ。モニタリングポストの近くだけ除染するだけでも、サイト上で確

認できる数値は低くなるわけです。モニタリングポストから

少し離れば線量は高いままなのに！ 実際、福大はS棟前全域を除染することはしていませんでした。

結局これは、「大学は学生の健康のことを考えている」とのポーズです。同時に、「除染すれば大丈夫」と思わせて原発事故を過小評価し、政府や東電らへの責任追及の怒りをそらして原発再稼働を進めるものではないでしょうか。（ふ）



今日（2月24日）はみんなで昼の福島駅前に登場し、街頭宣伝を行いました。この間、キャンパスが春休みに入っていることもあって街頭宣伝を積極的に行なってきましたが、今日は特に反応が良く、様々な人とお話できました。

南相馬市から避難してきたという男性は、「南相馬はかなりひどい状態らしい。原発はもういない」と署名してくださいました。原発の目の前に住んでいて避難してきたという高齢の女性は、「仮設住宅ではなく、自分で家を買って避難した。負けていけない」と怒りをあらわにしていました。ある中年の男性は私たちが全学連であると聞くと、「君たちが頑張らなければダメだ。怒りはあるのだから火をつけてくれ！」と激励してくださいました。何も言わずにカ

ンパをしてくださる女性もいらっしゃるなど、街宣を見かけて応援してくださる方もいます。新潟・柏崎刈羽出身でお父さんが原発労働者だという受験生も通りかかりました。「原発はだまされまわっている。40年とか60年なんでもつわけがない」というお父さんの言葉を聞いているそうです。ただ、「原発には賛成とも反対ともいえない。反対だというだけでなく、原発はなくてもいいんだという展望を語って欲しい」と話していました。

またこの日は、原発関連で取材している韓国の記者の方がたまたま通りかかり、私たちの活動も熱心に取材してくれました。その記事は <http://www.cmedia.or.kr/> で読めます。



ビラの受け取りは大変良く、3・11に向けて少しずつ雰囲気が高まってきていると感じます。3・11に注目が集まっています。福島人民と連帯し、全国からの結集で3・11を成功させましょう！（と）